

加速する安倍政権の暴走と それに正面から対決する日本共産党



「アメリカいなり」「財界中心」という 古い政治の枠組みの根本的転換を!

はぐるま

日本共産党 川崎重工委員会

困ったときはお気軽に
にご相談ください

内容は口外しません

TEL : 341-3235

FAX : 341-3236

メールアドレス

spum69u9@pony.ocn.ne.jp

ご意見や投稿なども
お寄せください

ホームページ <http://www.jcp-kawajyu.jp/>

携帯サイト <http://www.jcp-kawajyu.jp/i/>



参議院選挙の結果は、自民・公明の与党が過半数を獲得しましたが、マスコミ総動員しての「ねじれ解消」の合唱や、国政の主要問題に対するダンマリによって得たもので、安倍政権の政策が信任されたとはいえません。安倍政権の暴走に正面から対決し抜本的対案を示した日本共産党は、議席・得票とも大きく伸ばしました。その結果生まれた政党地図は、「自共対決」が鮮明となる一方、民主党や「第3極」とよばれる日本維新の会・みんなの党は、自民批判票の「受け皿政党」としての地位を失うことになりました。

参議院で過半数を確保した安倍政権は、さっそくあらゆる分野で暴走の姿勢をあらわにしています。主要なものだけでも、消費税増税、いつでも解雇できる「限定正社員」などの労働法制の改悪、原発再稼働、アメリカいなりのTPP交渉、憲法9条改定と集団的自衛権行使容認、沖縄へのオスプレイ配備と新基地建設という驚くべき「暴走リスト」が並びます。安倍政権の暴走の根底には、長年に渡る「アメリカいなり」「財界中心」の自民党型政治の継続によって、あらゆる分野で深刻なゆきづまりが進行し、この閉塞状況の打開をめぐる、日本の政治は大きな歴史的岐路にたつていているという問題があります。安倍政権の進む道は、アメリカと財界の利益を最優先する反動的打開であり、国民との矛盾を一層深め、激動的な危機に進展するでしょう。それに対して、国民の所得を増やしての景気回復や原発ゼロの日本など、国民の暮らしを最優先する民主的打開こそ、「国民が主人公」の新しい日本を切り開くものです。私たち日本共産党は、暴走と正面から対決し、国民とともにこの壮大な運動に取り組んでいく決意です。今後ともみなさんのご支持をよろしくお願いいたします。

参議院選挙の結果

	新議席	前回比	
		議席	得票数(万)
日本共産党	11	+5	+159.0
自民党	115	+14	+438.8
民主党	59	-27	-1131.6
公明党	20	+2	-7.1
みんなの党	18	-2	-318.9
日本維新の会	9	—	(-590.7)

() : 2012年総選挙比

大河 68年目の終戦記念日に、安倍首相は、過去の侵略戦争を「正義の戦争」と宣伝する靖国神社への代理参拝を強行し、玉串料を納めました。安倍首相は、以前から日本の侵略戦争を正当化する発言をくり返し、麻生副総理にいたっては、憲法改定に関連して“ナチスの手口に学べ”とナチズム肯定・民主主義否定の暴論です。これらと一体に、米国とともに海外で戦争できる国にするために「集団的自衛権」の憲法解釈の見直しを、選挙後急浮上させています。戦後日本は、侵略戦争の根本的反省を原点として、平和憲法を“誓い”に国際社会に復帰しました。侵略戦争を肯定するものに、国際政治にも国政にも参加する資格はありません。それは世界から孤立の道を突き進むことになるでしょう。「米国に染まらず、米国の軍事同盟から脱退し、世界に対する道義的な権威となり、東アジアに平和をもたらしてほしい」(米映画監督オリバー氏)。この道こそ未来があるでしょう。

坂出工場で死亡災害が発生 — 続く重大災害 —

安全衛生強化月間中の7月10日(水)、坂出工場において、LNG船の配管冷却試験に従事していた方(26才)が、低酸素状態になっていたドームハウス(カーゴタンク上に設置)で倒れ、11日未明に低酸素による脳浮腫により尊い命を失いました。

故人に対し謹んで哀悼の意を表するとともに、ご遺族の方々に心からお悔やみ申しあげます。

ドームハウスが低酸素状態となっていた原因については、配管冷却試験に使用した窒素ガスが、本来閉まっているはずの安全弁が不具合により開いていたために、ガスがカーゴタンク側に逆流し、それがタンク上部のマンホールを通じてドームハウス内に充満したと考えられています。

被災者は、工具を探すために、立ち入り禁止にはなっていたが施錠されていなかったドームハウスに入り被災しました。

窒素および他の不活性ガスの危険性と防護の徹底を！

6%以下の酸素濃度では一回呼吸でも死の危険性が

今回の災害の原因として、安全弁の不具合の見逃しや立入り規制の不十分さとともに、その背景にある窒素ガスの危険性に対する基礎知識の欠落などが指摘されています。

現在、会社は全社的に、酸素欠乏の危険性のある作業の総点検を行っていません。この際、窒素や他の不活性ガスの危険性を周知し、危険作業の一つひとつに対しきちんとした代替手段や防護策を講じることが求められます。

日本内外の災害教訓を社内に生かせる仕組みを！

日本内外では窒素ガス等の重大災害が相当数報告されています。それらの重大災害事例を適時に把握し、その教訓を社内に迅速に生かせる仕組みを整備していく必要があります。

労働環境に存在する本質的危険性の周知と本気で「安全を経営の最優先課題」に！

川重における死亡災害は、昨年3件、今年1件と続けて発生しており、非常事態と言えます。

生産現場には、高電圧や高温・高圧、高速回転体、重量物、燃料などの本質的な危険性が存在します。労働災害を起こさないためには、まずその危険性の基本認識と、それにもとづいた作業方法や防護策の確立が必須となります。

それらと合わせて、なぜこども重大災害がくり返されるのか、「安全を経営の最優先課題として企業運営を行う」という会社の方針が、実際の業務のなかで本当に貫かれているのか、厳しく点検することが必要ではないでしょうか。



E系列の新設等の職群見直しについて

会社は、職能資格制度の制度改定を労働組合に提案しました。事務職・技術職を「G系列から切り離して新たな系列として、実務の中核になる従業員の処遇にも対応できるようにする」ために、E系列(基幹業務担当系列)を新設するというものです。

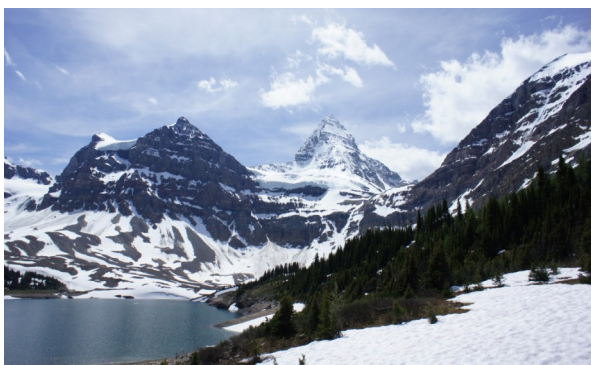
昨年末に、私たち日本共産党が行った「要求アンケート」調査では、「賃金が安い」「昇進・評価査定」の問題が「職場でもっとも不安・不満に感じる」の1位、2位でした。また、特技職の職場では、「将来は、監督・管理より、技術を生かした仕事をしたい」「仕事ができるのに英検とかで昇進しない」などの声もあがっていました。

こうした不満や要求などを背景に、会社は今回の職能資格制度の改定を提案したものとされますが、職場の若い人々からは、「本当に公平で正しい評価をしてくれるのか」「やりたい仕事ができるようになれば

よいのだが」「結婚できる給料になるのか」などの声が聞かれます。

会社は、こうした声にこたえる職能資格制度と職場づくりには、ぜひ努めてもらいたいと思います。

私たち日本共産党は、残業なしで生活できる賃金に底上げすることを前提に、男女差別も年齢差別もなく、同一価値労働同一賃金の原則を貫き、仕事の専門性や経験年数を正當に評価する賃金・人事制度にすべきと考えています。



厚生労働省が「ブラック企業」4000社調査へ

今回の参議院選挙で大きな争点となった「ブラック企業」。

厚生労働省は、8月8日、世論と日本共産党の追及に押され、若者を使い捨てにする「ブラック企業」が大きな社会問題になっていくとして、集中的な監督指導を実施すると発表しました。離職率が高い企業をはじめ、過重労働や法違反の疑いがある約4000社を対象に9月の1ヶ月間に立ち入り調査を行います。

3年で若者を「使い捨て」

「ブラック企業」の典型的なやり方の一つは、新卒の若者を正社員として大量に採用し、過大な仕事を与え、長時間労働とパワーハラで選別することです。その過程で多くの若者がうつ病などの精神疾患となり退職に追い込まれています。入社2、3年間で若者を使いつづす。まさに“使い捨て”です。

「ブラック企業」根絶のために日本共産党はこう考えています

横行の背景に規制緩和

「ブラック企業」が横行する背景には、財界と自民党政権が1990年代半ば以降、労働法制の規制緩和を進め、非正規雇用を拡大してきたことがあります。その結果、若者の半数が非正規雇用に置かれました。こうして“代わりはいくらでもいる”状態がつけられたのです。

安倍内閣の「成長戦略」でも、さらなる労働法制の規制緩和が検討されています。「解雇の自由化」「サービス残業合法化」「非正規雇用の拡大」など雇用ルールの破壊を狙っています。まさに日本社会全体を“ブラック企業化”していく方向です。

日本共産党の提案

日本共産党は、「ブラック企業」を根絶するには総合対策が必要と考えています。今回の躍進で得た議案提案権を活用して、効果的に法案として提案することを探究しています。

二つの緊急措置 ①政府

読者の広場



社長メッセージ「自由闊達」で『風通しの良い』社風を大切に」を読んで

朝のニュースで突然、川崎重工の名前が流されたのには大変驚かされました。メッセージでは、臨時取締役会で社長をはじめ3名の役員を解職したプロセスを通じて、経営幹部間では、「議論を大切にし、むしろ

否定的な意見こそ尊重する」としたので、各職場のリーダーたちも、「自由闊達」で「風通しの良い」職場環境づくりを目指せと強く要請しています。

どうも、突然の解任劇と「風通しの良い」社風との関連がよくわかりません。よく読むと、意見の違う社長を解任して風通しがよくなったとも受け取れてしま

い、「この先が少し心配です。また、「絶えずCSRやコンプライアンスを意識して物事に取り組んでくださ

い」と述べていますが、最近マスコミを賑わせた岐阜工場のヘリコプター談合疑惑の件には一切触れていません。受注がキャンセルとなり防衛省の指名停止にも

なった問題に対し、取締役会として反省すべきことがないのでしょうか。まず、この問題について説明するこ

とが、「『企業価値とは何か?』を問いつづけていく」ことにはなるのではないのでしょうか。

(神戸・T)



作業服・長靴が自腹!

神戸工場で掃除の仕事をしている外注の人の話しを聞いて、それはあまりに理不尽だろうと思うことがありました。

作業服、長靴など仕事に必要な物が、自腹だそうです。仕事は川重から外注業者に発注されているようですが、川重の単価が低いことが原因なのか? 同じ工場に働いていて、正社員は支給、外注の人は自腹、この仕打ち、どうにかありませんか。

(神戸・A)

避難訓練は何時するの?

東日本大震災で小学生が避難訓練を生かし、多くの命を救ったNHK番組を見て、「避難訓練は大切な」と感じました。

神戸工場では南海トラフ大地震を想定した大規模な避難訓練が行われたと聞きました。同じ海に面した播磨工場ではまだ行われていません。

何でこんな温度差があるの? 避難訓練は何時するの? “今でしょう!”

(播磨・H)

最近のニュースから

原水爆禁止2013年世界大会

アメリカの映画監督オリバー・ストーン氏も参加した世界大会は、8月3日広島国際会議から9日の長崎大会まで7日間の日程で開催されました。

広島大会国際会議宣言では、2015年のNPT再検討会議にむけて「世界の市民の世論と運動をニューヨークへと結集し、核兵器廃絶を求める巨大なうねりをつくりだそう。」そして「若い世代とともに被爆者の訴えに耳を傾け、…『核兵器のない世界』への扉をひらく広大な世論を築きあげよう」と呼びかけました。

長崎平和宣言では、68年前に原爆投下で24万人の市民のうち、7万4千人の命が奪われたこと、今年4月に提出された核兵器の非人道性を訴える共同声明に80カ国が賛同するなか、日本政府は唯一の被爆国でありながら署名を拒否したこと、そして、「核兵器の使用を状況によっては認めるという姿勢を日本政府は示したこと」など、政府の姿勢を厳しく批判しました。

原水爆禁止世界大会は、1945年の広島、長崎への原爆投下に続く、1954年アメリカのビキニ環礁水爆実験の被災事件をきっかけに「原水爆禁止署名」が全国でとりくまれ、1年余で当時の有権者の過半数3400万に達しました。こうした大きな国民の声を背景に、原水爆禁止世界大会は、1955年8月に広島で第1回大会が、翌1956年に長崎で第2回大会が開かれ、以来毎年世界の人々と連帯して開催されています。

今年は、これまでもまして多くの日本内外の若者たちが参加し、2015年にむけて「核兵器廃絶を求める巨大なうねりをつくりだそう」と熱気あふれる大会となりました。

明石工場「西門封鎖」

新ビル建設は、2014年春の完成に向け工事が続いています。建設地北側の工事は、隣接中学校が夏休みに入る時期をねらって進められています。

それにより西門が8月から封鎖（8月末まで）され、西門を利用していた人たちは、より遠く（南側）にある技研・電算ビル横の西通用門を利用して通勤しています。ただでさえ門から遠い職場の人たちは、猛暑の

中汗だくでテストコース沿いを歩いています。

明石工場は当分新ビル建設中心に動いていきます。その裏で期間満了を迎える期間社員が職場を離れていきます。

（明石のバイク王）



業務災害が無くならない職場

先月、坂出工場では、またも死亡災害が発生しましたが、昨年5月にも死亡災害が発生しています。昨年の死亡災害から、事故を起こさない、再発させない安全の教訓はつかめなかったのか？ 悔やまれてなりません。

尊い命を大切にす職場環境を一刻も早くつくっていただきたい。（神戸・T）

毎年たのしみの懇親会

船舶の技術部門では、毎年夏になると工場近くのホテルや会社施設の大ホールなどを利用して懇親会が催されます。

ところが、先日、坂出工場が発生した痛ましい死亡事故により延期になりました。昨夏は神戸工場のドックで事故があり延期して実施されました。重大災害のない職場であって欲しいと願っています。

懇親会は、毎年新入社員の方さんの企画によるパフォーマンスや各種ゲームもあり、80名を超える人たちが参加する楽しいコミュニケーションの場となっています。

今年も、風通しのよい職場作り役に役立つ懇親会になればと期待しています。

（神戸・N）



Web勤怠が真っ赤！

西神戸工場では、7月5日9月もオール定時退場の継続が決定されました。仕事量が増えている職場では、人員が不足し残業を余儀なくされています。Web勤怠は、差異理由の入力で真っ赤になり、サービス残業をしている人もいます。そのしわ寄せが入業の人たちにも及んでいます。

労組は、残業を申請しにくい状況やサービス残業を強いられる職場の声を知りつつ、会社の回答の丸呑みをくり返しています。本来あるべき労組の役割が問われています。

（西神戸・Y）

震災募金 受けつけています

郵便振替

【口座番号】00170-9-140321

【加入者名】日本共産党災害募金係

通信欄に「震災募金」と記してください。
なお、手数料はご負担をお願いします。